

Vories
cure&care



ヴォーリス
だより

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ッ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有)東呉竹堂(ひがし印刷)

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>

2016年(平成28年)6月1日 第108号

開院99年目を迎えて



公益財団法人近江兄弟社理事長 三ッ浪 健一

梅雨の季節となりました。毎年5月には近江兄弟社グループと病院にとってとても大切な行事が執り行われます。

今年も5月7日には恒春園において創立者ウィリアム・メレル・ヴォーリス師の召天記念礼拝がありました。ヴォーリス師は1964年5月7日に83年6ヶ月の地上での生活を終えて天に召されました。今年はその以後52回目の記念日でした。イエス・キリストの原理の一般生活への適応こそがヴォーリス師の生涯の理想であり、近江ミッション(1934年に近江兄弟社と改称)形成の目的でした。神の国の建設に必要な、キリスト教青年会(YMCA)、結核療養所、学校、保育所などの社会事業に取り組み、多くの有用で優れた文化財となる建築を残し、しかもこれらの社会事業に必要な資金を、人々の役に立つ家庭薬の製造販売によって自給しました。この創立者の強い信仰心と意志を思い返し、聖霊の導きに従うことの重要性が確認されました。

今年同日に恒春園記念式が挙行されました。これは今から87年前の1929年5月4日に、当時の近江ミッションが恒春園納骨堂の献堂式と第1回納骨式を実施したのが始まりです。以来、当初は毎年5月21日をミッションメモリアルデーとして慰霊祭が執り行われ、それは戦時中も絶やすことなく続けられました。そしてそれが、ヴォーリス召天記念日以後の最初の土曜日に恒春園記念式として挙行されるようになり、今回の第87回はちょうどヴォーリス召天記念日と同じ日になりました。我々近江兄弟社グループは、恒春園に納骨されている諸先輩およびその遺族の方々をはじめとする多くの方々に支えられている存在であり、ヴォーリス師および意を同じくされた多くの諸先輩方の信仰心を思い返し、その志をしっかりと継承することの重要性が確認されました。

そして5月25日は当院の開院記念日でした。今から98年前の1918年5月25日に、当院の前身である近江療養院の開院式が挙行され、当院の歴史が始まりました。4年前の2012年4月から、本部事務局、ヴォーリス記念病院、在宅サービス部門、およびヴォーリス老健センターの4事業所が全体として公益財団法人近江兄弟社として認定され、創立者の精神を継承する諸事業を行いながら、「地域医療の予防から終末期まで住民が安心して暮らせる地域社会の実現に寄与する事業」を公益目的事業として実施することが認められてきたわけですが、今年の4月から、その公益目的事業について、「地域包括支援センターの運営を追加する」ことが認められました。すなわち、当公益財団法人が近江八幡市中北部地域包括支援センターを運営することが認められました。この地方自治体からの委託による介護保険者の立場で行う地域包括支援センター運営に加えて、4月から院内に新しく在宅療養支援課と経営企画室を設置したところです。これらにより、開院後99年目に入った当法人はこれまで以上に強力に住民のためになる地域包括ケアを推進できると確信しています。地域の方々すべてが、住み慣れた地域や自宅ですべて、自分らしく生きがいを持って生き続けることができるaging well, aging in placeを目指して、みんなで力を合わせてがんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

**敷地内全面禁煙です。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**

今
月
の
聖
句

イエスはお答えになった。
「あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ」と書いてある。

新約聖書 ルカによる福音書 4章7節



チャプレン 安部 勉

新約聖書「ルカによる福音書」によればイエス様が人々に「宣教」を始めたのはおよそ30歳の時であった、とあります。そして、この世での「宣教」の期間は約3年ではなかったかと研究者は言っています。宣教とは「神さまが私たちに示した『よき知らせ』を伝えること」です。また、「伝道」という場合もあります。

「福音」という言葉、身近な例で言えば医学の進歩によって今まで治らないとされていた病気に特効薬や治療する道が示された時に使われることがあります。「患者さんたちにとってこの発見は福音です」と。もともと「福音」とは「良き知らせ」という言葉です。イエス様がこの世に遣わされたこと自体が「良き知らせなのです」と受け止めて頂ければと考えます。その良き知らせ、とは「神様は私たちを愛している」ということでした。それまで人々が聞いていたことは「神の教えに従うこと」が前提でした。簡単に言えば「神さまの言うことをしっかりと守ること」が愛される条件と信じていました。しかし、イエス様は決まりを守ることができなくても、失敗しても、愛して下さることを示したのです。

多くの人は「死」は神さまからの裁きの結果なのだ、と恐れていました。しかし、イエス様が「復活」したことを通して「生死を越えたいのちを生きるものである」と示されたのです。それもすべての人々が。その人の生き方に関わらず。

良き知らせ、とは私たちが思い描く「良いこ

と」とは限りません。言い換えれば「こうなりたい」とか「こうあってほしい」と願っても叶わないことばかりでしょう。そういうことの連続ならば神さまを信じることも難しいものです。

イエス様は「宣教」の際、悪魔から誘惑を受けた、とルカによる福音書では記されています。その誘惑とは40日間何も食べることができずに過ごしていた時のことでした。悪魔は「空腹なら石をパンにかえたらいいではないか」「私に従うならこの世の権力をすべてあなたにあげよう」と。その時イエス様が悪魔に反論したのが今月の聖書の言葉です。イエス様は以前、神さまが人々に与えてくれた言葉を用いたのです。

悪魔が試みたことは「私たちの願い」と言い換えることができるかもしれません。それは「お腹を満たすこと、自分の思い通りに生きること、そしてこの世のいのちが永らえること」。きっと誰もが願うものです。

でもすべてを手に入れたとしても「悪魔」の支配下に置かれたならば、それは本当の自由でも愛でもないのだ、と。

限りあるこの世の時間の中で、不自由をおぼえなければならぬ中でイエス様が私たちに示そうとした「よき知らせ」とは「神さまの愛のうちにあること」に出会うことだよ、と。

思い通りにならない中であって、なお「私はいつまでもあなたと共にいる」との「愛」の言葉に「救い」を見出して欲しいと願っているのです。

在宅サービス部門だより

訪問看護ステーションヴォーリス 廣瀬 幸恵

私が当ステーションに入社してもうすぐ2年になります。看護学校を卒業して十数年間は市外の病院で勤務していましたが、ホームページの「その人らしい生活を支える」という言葉に魅かれて入社を決意しました。

病院で勤務していた頃は建物の中で外の天気や気候も分からずに働いていましたが、訪問看護の仕事では夏は暑いし冬は寒い!! 雪の日は慣れない雪道運転で命がけ!?!で外の気温を体で感じつつ、近江八幡の美しい景色に癒され、心の温かい利用者さまやご家族さま・何でも相談できるスタッフに支えてい

ただきながら恵まれた環境で働かせて頂いています。

私たち訪問看護師は主治医の指示のもと、子どもさんからお年寄りまで様々な年齢のかたの訪問をさせて頂いています。年齢やご病気・身体の具合によって必要とされる看護は異なりますが医師やケアマネージャー・ヘルパー・リハビリ・病院や施設など様々な職種の方とも連携し、利用者さまが住み慣れた環境で安心して「その人らしく生活していける」ように一緒に考えていきたいと思っています。私自身、まだまだ未熟な面も多いと思うので日々勉強していきたいと思っています。

新しい部署紹介

『はじめまして、在宅療養支援課です！』

在宅療養支援課 神 千草子

4月より、看護部で在宅療養支援課を新設し看護師3名で活動しています。

主な役割としては、入院された患者さまが治療後住みなれた地域へ、安心して退院できるよう病棟看護師と共に在宅支援していくことです。そのためには、入院時より“その人の退院後の暮らし”を見据えながら、『自宅で生活できるだろうか』『生活していくには、どういった機能が必要なのか』という観点で常にケアしていくことが大切です。

現在行っていることは、入院された時点で情報収集し、1週間以内に病棟看護師と共に退院支援計画書を作成。地域医療課と連携し、介護保険制度や地域の医

療・福祉サービス等の情報提供を行いながら、必要な生活指導の確認等を行います。また、担当ケアマネジャーとも連携をとって、介護サービス調整のための情報交換、退院前にサービス事業所との話し合いの場を設定します。

今年度の診療報酬改定で、退院後の自宅訪問ができるようになりました。実際の生活状況を確認させていただき、退院後見えてきた介護の問題に対しての生活指導も行なっています。

ご本人、ご家族の思いに寄り添いながら、他職種との連携を強化し、よりよい在宅復帰のためのお手伝いをさせていただきたいと思っています。

「地域医療課」について

地域医療課 加藤 和幸

地域医療においては、地域の医療機関が連携し、それぞれの医療機関の特徴を活かし、地域全体がひとつの医療システムとなって、最適な医療サービスを提供していく必要があります。今後の医療情勢では、地域連携を強化していくことが求められています。

昨今、医療情勢に関するキーワードの一つとして「2025年問題」が挙げられます。

「2025年問題」とは、団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者（75歳以上）に達する事により、医療・介護費などの社会保障の急増が懸念される問題です。国は、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するために「地域医療構想」を策定し、病床の機能分化・連携を進めるために各都道府県に医療需要と病床数の必要量を推計し見直しを求めています。

滋賀県でも、「地域医療構想」に基づき、2025年問題を見据えた、在宅医療の推進と、病床機能の分化を検討しています。

病院単体で治療から療養まで患者さんを見ることは難しくなり、急性期→回復期→維持期というように複数の関わりで成り立っています。

病床機能の分化・強化・連携や医療・介護の一体的な基盤整備など質の高い人材確保が求められています。

このような状況により、今年度4月より、「地域連携課」は「地域医療課」に名称変更いたしました。

地域医療課が病院の窓口として相談に応じ、病院間の転院や施設間移動が円滑にできるよう調整していきます。

在宅療養強化のため、4月より新設された「在宅療養支援課」と共同し、患者さんに健やかな在宅生活がおくっていただけるよう、患者さんの「回復」にむかって尽力したいと思います。よろしくお願い致します。

健康について

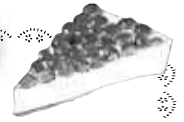
2病棟 的場 昌子

私は、正直にお話すると、健康について考えた事があまりありませんでした。自分の事は後回しで、子供の事をするのが精一杯で、病院に行ったり、野菜を食べてくれないと、ご飯を雑穀米にしたり、青汁を買ってみたりした事がありましたが、当然飲んでもらえずでした。でも、特に大きな病気もせず、毎日家族みんな話をして、笑って、この毎日がとても幸せな時間であると言う事に気が付いたのは、恥ずかしながら数

年前でした。身体も大切ですが、気持ちの面でも落ち込んでいた時は、心から笑えなかったり、仕事をしていても、いつも以上に疲れたように思えます。心が不調になると、身体を巻き込んで、不調にしたりと、心が健康でないといけないと思います。身体の健康は、その方によって様々ではあると思いますが、心と身体が健康である時間を沢山の人が少しでも多く過ごせたらと思います。

ヘルシークッキング 6月

水無月



エネルギー 73kcal タンパク質 0.4g 脂質 0.1g (1切一約40g分)

★材料(13.5cm×15.5cmの流し缶1つ分)

- ・白玉粉 20g
- ・葛粉 30g
- ・薄力粉 70g
- ・上白糖 90g
- ・水 200cc
- ・茹で小豆 120g

(甘納豆で代用も可能です。)



★作り方

- ① ボールに白玉粉を入れて、水を少しずつ加えながら指先で粒を潰すように混ぜます。
- ② 別のボールに薄力粉と葛粉、上白糖を入れて①を少しずつ加えながら泡立て器で混ぜ、滑らかになったら濾します。
- ③ ②の生地を約50g分取り分けて、残りを水で濡らした型に流し、蒸気の上上がった強火の蒸し器で約20分間蒸します。
- ④ 一度型を取りだし、表面の水滴をキッチンペーパーなどで拭き取ります。全面に茹で小豆を散らしたら、残りの約50g分の生地を静かに流して、再び蒸気の上上がった蒸し器で約10分間蒸します。
- ⑤ 冷めたら型から取り出し三角形にカットして完成です。



夏の定番のお菓子「水無月」。6月30日に食べることで有名なですね。これは、「夏越祓(なつごしはらえ)」という行事に関係があります。「夏越祓(なつごしはらえ)」は「水無月の祓い」とも呼ばれ、1年の折り返しにあたる6月30日に半年間の罪や穢れを祓い、残り半年の無病息災を祈願する神事です。この「夏越祓」に用いられるのが「水無月」です。「水無月」は外郎(ういろう)の生地に小豆のをせ、三角形にカットされた和菓子ですが、これらにはそれぞれ意味が込められています。

旧暦6月1日は「氷の節句」と言われ、室町時代には「氷

室」と呼ばれる、冬の氷を夏まで保存しておく場所の氷を口にして暑気を払う行事が宮中でありました。当時はこの氷を口にするに夏痩せしないと信じられていましたが、当時の水は非常に貴重なものであり、庶民にとっては氷など簡単に食べられるものではありませんでした。そこで、宮中の貴族にならって氷を模した菓子が考案されました。それが、「水無月」です。「水無月」の三角形は氷片を表しており、生地に乗せている「小豆」は悪魔払いの意味があります。

こんな水無月ですが、今年の6月は厄払いもかねて「水無月」を手作りしてみたいかたがでしょうか？

報告

「第87回 恒春園記念式」

チャプレン 安部 勉

去る5月7日、ヴォーリズ学園平和礼拝堂に於いて「第87回 恒春園記念式」を執り行いました。この記念式は近江兄弟社に連なり奉仕された先達への感謝と神さまのもとにある平安を記念し毎年執り行っています。また共に一時を近江兄弟社で過ごされた皆さまにとって懐かしい再会の機会ともなっています。

当日は当院の創立者でもあるウィリアム・メレル・ヴォーリズが主のもとへと召された命日でもあり、関係者による礼拝、引き続き近江兄弟社に奉仕された先

達を記念しヴォーリズもこころ向け建てられた「恒春園」にて4名の方の納骨式をとり行いました。

記念式には関係各位はじめご遺族の皆さまと共に天にある友、そして家族を記念し礼拝を守り、礼拝後には同志社女子大学音楽学部の学生の皆さんの声楽とフルートの演奏に耳を傾けました。

先達の築かれた近江兄弟社の歴史を再認識し、ヴォーリズの理念を継承していくことを改めて心に誓う一日でした。



報告2

「看護の日」

ホスピス 築山 結実子

看護の日（5月12日）に、病院正面玄関入口内にブースを設けて、血圧・血糖測定・認知症検査及び健康相談などを行ったところ、半日でしたが40人を超える方々に参加頂きました。

他にも病棟や今年度開設した在宅療養支援課紹介の掲示物を貼り出していました。（～5月17日まで）又、各病棟では、入院患者様に向けてメッセージカードをお渡ししました。



～フィットネスからの入会募集のお知らせ～

MEDICAL FITNESS CENTER VORIES メディカルフィットネスセンターヴォーリス

あなたの健康づくりをサポート



メディカルフィットネスセンターヴォーリスは『生活習慣病予防』と『介護予防』に積極的に取り組みます。

3つの理念	利用料金	営業時間							
		月	火	水	木	金	土	日	
① お話するすべての人へ笑顔で対応いたします。 ② 利用者の話にしっかりと耳をかたむけニーズに応じた機身のサービスを心がけます。 ③ 利用者の健康状態を理解して一緒に健康づくりをお手伝いします。	①入会金 3,750円 (各検査、詳細料含む) ②月会費 8,200円 (通：週以上利用) 5,400円 (週：週利用) 3,024円 (週：週利用)	9:30～12:00	—	—	0	—	—	0	—
	年会費でのお申込みの方は上記金額の10ヶ月分の料金でご利用いただけます。(利用確定あり) 目的別個別トレーニング 2,500円 (1回 30分) 4,500円 (1回 60分)	13:30～17:00	0	0	0	0	0	0	—
	定休日：日曜日・祝日 年末年始などMFCが定めた休日	17:30～20:00	—	0	—	—	0	—	—

入会時の注意

- 医師から運動を止められている方、要介護認定1～5を受けている方は入会をお断りさせていただきます。
- 病院や診療所にかかられている方は、必ず当センターへお申し出ください。

その他

- 初回手続きには入会金、印鑑、引き落とし可能な通帳口座が必要になります。月会費は口座からの引き落としになります。
- 利用者の情報は厳重に管理し、情報保護をいたします。

評価 身体計測、柔軟性、骨密度、反応速度、重心動揺を個別測定します。

運動 運動前に血圧、体重、体脂肪率の測定を行います。病状や怪我等で運動に不安のある方でも様々な身体状態に合わせて無理なく安心して運動していただけます。

施設 有酸素運動機器、筋力トレーニング機器、ストレッチマット、バランストレーニング機器、更衣室

各種運動機器 筋力向上や、バランスの調整や向上のための器具、体操用ゴムバンドを取り揃えております。

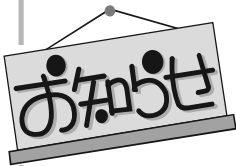
公益財団法人近江兄弟社
 メディカルフィットネスセンター ヴォーリス
 〒523-0806 滋賀県近江八幡市北之庄町492 (老健センター1階内)
 TEL : 0748-32-5540
 FAX : 0748-32-5541
 E-Mail: medifit-v@vories.or.jp
ご連絡、お待ちしております!!

報告3

第237回 ミュージックタイム

さる2016年4月23日、「第237回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。今回は中国の楽器、二胡の演奏を皆さんと楽しみました。京都よりお越しの皆さん、優しい音色に気持ちも穏やかになりました。



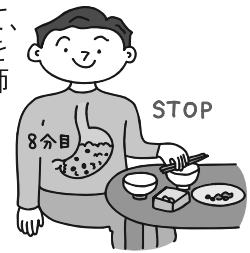


▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 **6月23日(木)** 12:00~13:30 場所 **新館研修室(病院内)**
講師 **管理栄養士**

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内 (平成28年度)

開催日程表

回	日程	内容	担当・講師
2	7月28日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART X I」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏
3	9月15日(木) 14:00~16:00	「認知症になってもその人らしい生き方を支える」	訪問看護ステーションヴォーリス 在宅看護専門看護師 田村 恵 氏
4	11月24日(木) 14:00~16:00	「認知症の予防(運動編)」 (仮)	ヴォーリス記念病院 作業療法士 宮本 優子 氏
5	2月23日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART X II」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：30名
- ②場 所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 2回目7月25日(月)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 生駒
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

メディカルフィットネスセンター 会員募集

あなたの健康づくりをサポート

安心して楽しく運動して頂けるよう、からだの状態を評価し、お一人お一人の運動メニューを提供致します。

受付時間 9:30~17:00
利用時間
月・水・木・土/ 9:30~17:00
火・金/ 9:30~20:00
定休日 日曜日・その他(年末年始など)

近江八幡市北ノ庄町492
ヴォーリス老健センター 1階内
TEL 0748-32-5540

地域医療課

介護・入院・施設の入所等で、
お困りのことがあり
ましたら、お気軽に
お越しください。

正面玄関入って左側
です。



働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

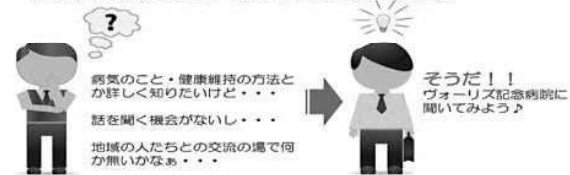
“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”



詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211 (担当:澤谷)

健康生活について「出前講座」のご案内

ヴォーリス記念病院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、地域に向いて『出前講座』を開催しています。また、この講座を地域で開催することにより、地域の皆さまの健康と福祉の増進に努めたいと思っています。ぜひご利用ください。



ヴォーリス記念病院では下記の講座を実施しております。

- お聞きになりたいと思われる病気(生活習慣病関連・感染性疾患、インフルエンザや消化器疾患、脳疾患、がんなど)について医師からの話
- リハビリ療法士の体操や看護師・栄養士・薬剤師などからの話
- ホスピスについて、緩和医療や在宅看取りなど医師や緩和認定看護師、訪問看護師などからの話
- 自宅で療養を継続させるためのサービスの具体的な内容などについて、訪問看護やホームヘルパーやケアマネージャーからの話

お申込・お問い合わせはこちら >>> TEL: 0748-36-5460 (直通)
ホームページでもご覧いただけます。 FAX: 0748-32-2152
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 経営企画室 まで

お知らせ

がんになったホスピス医の生き方論

希望という名の ホスピスで見つけたこと



ヴォーリス記念病院ホスピス(希望館)長 細井順先生の著書が出版されました。

窓口販売のみ特典!! 『先生の直筆サイン入り』

窓口販売価格 1,200円(税込)

ご購入を希望の方は、医師課受付にてお問い合わせ下さい。